

行政運営の基本理念・原則となる条例のあり方について

《行政運営の基本理念・原則となる条例のあり方》

検討①：京都府の行政運営の基本理念・原則となる条例を検討するにあたって、その規定内容をより相応しいものとするために、条例の形式やコンセプトとして、どのような視点に留意していくことが望ましいとお考えですか

▶ 基本条例の性格・コンセプトの視点（例）

- 京都らしいやわらかな条例
…「です。ます」調のほか、条例として許される限りやさしい表現の使用等
 - 基本条例であることから大きな枠組みを規定
…理念・基本原則を踏まえ、これを実現するために必要な事項を規定する
 - 府民誰もが共有する普遍的な事項を示す
…一定の実効性に配慮するが、総花的になるなど理念・基本原則がぼやけることがないようにする
 - 参画・協働による新しい自治のあり方を示す
…新しい「公共」を進めていく府民との関係や連携のあり方など、府政運営の新たな指針を明確に示す
 - 条例の理念や基本原則を生かす新しい視点
…ユニバーサルな視点（やさしい日本語で定義することを目指す）
京都の「和」、共生の視点
 - 理解しやすいよう平易で明確な規定
…府民全員が共有できる可能な限り分かりやすい表現で規定する（（例）中学、高校生等にも理解できる規定内容にする等）
 - 行政運営全般における最高規範としての位置づけ
…基本条例として、何らかの最高規範性を示すべきか、どうか
 - 行政に関わるもの全てが共有するもの（条例の対象（主体、主語）は特定しない）
- ※ 府民とともに目指す社会の姿を描き、それに向かうあるべき行政の理念を中心に掲げ、それを実行するための行政運営の大枠の基本の方向性（羅針盤）を示す
（「行政基本条例」、「住民自治型自治基本条例」等既存条例の形式を意識せず、府民と合意できる事項を条例化）

検討②：これまでの議論を踏まえた基本条例のイメージを別紙にお示ししていますが、条例の前文、目的、理念及び基本原則としてどのような事項を位置づけるべきだとお考えですか。また、京都府の行政運営の基本理念・原則として新たに盛り込むべきものや、こうあってほしいといった点などについては如何でしょうか

検討③：条例の理念や基本原則を実現するためには、一定の実効性も必要であると考えられますが、それらを担保するための制度や項目として、基本条例にさらにどのような内容を規定することが必要であるとお考えですか。また、先駆的に規定すべきと考えられる事項などについては如何でしょうか

▶ 規定内容の検討ポイント（例）

- 条例の対象となる主体、またその範囲
- 行政に関わる各主体の責務（権利）
（○ 知事から議会への説明、協議等の対応の基本）
- 民間の公共的な活動の位置づけ
- 理念・基本原則に基づく取組の原則、諸制度・手続として規定すべき事項
- 府（行政）の役割の方向性
- 府内市町村との連携のあり方
（○ 他府県との関係 ○ 他府県の市町村との関係 ○ 関西広域連合との関係 ○ 国との関係）
- 基本条例として位置づけ（最高規範性の意味）